補装具費支給要否意見書(電動車椅子)

※普通型用

氏	: 名	男女生年月日年月日生歳					
住	所						
障	がい名						
原因となった		交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災					
	病・外傷名	疾病・外傷発生年月日 年 月 日 疾病・先天性・その他()					
障	運動障がい	1 なし 2 弛緩性麻痺 3 痙性麻痺 4 固縮 5 不随意運動 6 しんせん					
		7 運動失調 8 その他()					
	知覚障がい	1 知覚脱失あり 2 知覚鈍麻あり 3 知覚過敏あり 4 なし 【関節の可動性、筋力、変形等の状態を記入すること】					
		【関即の刊期性、肋刀、変形等の状態を記入すること】					
	H.L. 1016 Ale						
が	下肢機能						
い							
٠.	歩行の状態						
	座 位	1 自力にて可(時間・分) 2 背部支持があると可(時間・分) 3 不可					
<i>の</i>	立位保持	1 自力にて可(時間・分) 2 支持があると可(時間・分) 3 不可					
_	立ち上がる	1 自力にて可 2 介助があると可 3 不可					
		握 力 右 kg 左 kg 【関節の可動性、筋力、変形等の状態を記入すること】					
	시스 에서 나타						
状	上肢機能						
		1 自力にて可 2 辛うじて自力にて可 3 不可					
	手 動 式 車椅子の操作	** 自走可の場合 → 操作方法 { 両手 右手 左手 右足 左足 } { 室内のみ 室外も可 }					
況	褥瘡の有無	1 あり 2 現在はないが過去にできたことあり 3 過去・現在ともなし					
	臀部の状態	1 異常なし 2 皮膚の発赤、変色あり 3 痩せており、骨の突出あり					
操	移 乗	1 自力で可 2 一部介助必要 3 全介助					
作	視力	1 正常 2 障がいあり() → 安全走行に { 支障なし 支障あり }					
能	視 野	1 正常 2 障がいあり() → 安全走行に { 支障なし 支障あり }					
	聴 力	1 正常 2 障がいあり() → 安全走行に { 支障なし 支障あり }					
力 -	知的能力等	1 正常 2 知能低下等あり() → 安全走行に { 支障なし 支障あり }					
等	操作方法	1 上肢 → { 右手 左手 } 2 頭部 → 3 その他 →					
<i></i>	. 田 뀨 田 日 2						
使	[用効果見込						

			処	方	内	容					
必		普 通 型	□ 4.5km/H □	∃ 6km/H							
要		リクライニング 式普通型	以姿勢をとる必要があるため Zを長時間保持できないため								
を 電動リクライニ							イニング				
る電		電動ティルト 式普通型	【支給要件】 脳性麻痺、頸髄損傷、進行性疾患等による四肢麻痺や、関節拘縮等により座位保持が困難な者であって、自立姿勢変換が困難な者等で、この電動車椅子を使うことにより、自力でのティルト操作が可能となる者								
動車		電動リクライニ ング・ティルト 式普通型									
椅子		電動リフト式普 通型	【支給要件】 手動リフト式車椅子の使用が困難な者で、当該車椅子の使用により自力乗降が可能となる者 ※ 自力乗降が不可能な者であっても、日常生活の状況や介護者の状況等を勘案し、真に 必要とすると認められる場合は、交付対象とする。								
7	バックサポート 1 固定式 2 延長 3 張り調整式 4 ヘッドサポートベース(枕を含む) 5 枕(オ										
		対象者例	※2 → ① 体幹の筋	力低下により、背当て	の延長が必要な者 ②)リクライニング、ティルト機構のため』	必要とする者				
ア	<i>-</i>	ムサポート	1 固定式 2 デスク型 3 高さ調整式 4 跳ね上げ式 5 拡幅(左・右・両) 6 延長(左・右・両)								
		対象者例			こよりアームサポートの高						
1.	/ NI :		※5·6 → 上肢の障がいなどにより、固定式の肘掛けでは移乗が困難な者 ポート 1 固定式 2 開閉・脱着式								
		トサポート	1 調整無し 2 前後調整(片・両) 3 角度調整(片・両) 4 左右調整								
	□ シートベルト 1 腰ベルト 2 胸ベルト 3 股ベルト 4 その他()										
	,	□ クッション	□ フローテーションパッド								
, ,	クッ	□ ポリエステル繊維、	、ウレタンフォーム等の多層構造	及び立体編物構造の	もの 🗌 背クッション						
付	シュ		タンフォームの組合せのもの 特殊形状クッション(骨盤・大腿部サポート)								
	ョン	_	閉するだけで空気量を調節するもの								
		□特殊な空気	(室構造のもの		□ クッション滑						
E		テーブル		□ クライマ		□ 点滴ポール					
属	_	ステッキホルダ		□ ノーパン		□ 泥よけ(右・左・両)					
品	_	携帯用会話補助		□大車輪		□ 痰吸引器搭載台					
		酸素ボンベ固定			クカバー(右・左・両)	□ フロントサブホイール	/				
		栄養パック取付車載時固定用に	7,147		キャスター(エアー式等)	幅止め□ 高さ調整式手押しへ	27KH				
	_		用フック □ 人工呼吸器搭載台 □ 高さ調整式手押しハント 置(キャスター無・キャスター付き折りたたみ式)								
	□ 転向の正表直 (17^/) ださがりたたみれが □ その他										
	LI てVIIIL										
上記のとおり意見します。											
年 月 日 医療機関名											
所 在 地											
				診療	科 名						
				作成	医師氏名	F	印				

【記入上の留意事項】

(H28.06)

- 1 身体障害者福祉法第15条の規定に基づき指定された医師が記入すること。
- 2 該当する項目は全て記入すること。なお、選択肢がある場合は、該当する項目に○またはレ印を付すこと。
- 3 処方内容の決定に際しては、必ず補装具製作業者立ち合いのもとで行うこと。
- 4 難病患者等は、症状が日内変動する者もいるため、症状がより重度の状態をもって下記内容を記入すること。
 - (1)難病等により、補装具が必要と認められる症状
 - (2)症状の日内変動等の内容や時間、期間、頻度等
 - (3)その他参考となる事項